

海月がちじして君には会いたくて

■川柳

くいな橋という駅の名前の華やかで
10回に1回は君が負けますね

大雨の日にだけ僕は外に出る

息止めて潜つていれば雨降らず

もぐもぐと口を動かすぶりをする

歌のように俳句を作る人がいる

りんごパンをじつて歯茎に噛がついた

夕焼けの野原はどこにもありません

奥ゆかしい人の言葉に聞き惚れる

JRなんて言つたら怒られますね

8月5日（火曜）分

■短歌

オレンジとバナナとメロンとパイナップルそれだけを食べそれだけを

食べ

■俳句

別れたる日の美しき浴衣かな

■川柳

エレベーターの前でも上でも下でも斜めでも

歌歌おうもうと歌おう一緒に

ちょっとそれ大きすぎやしませんか

目を閉じている間にキス奪われて

追いかけて髪引つ張つて取り返す

体重を測るともなく測るのともなく

ウインドウに映るのヤエモグラ

とち狂い垂直方向を雲螺旋する

そんなんのは知らないうちが花ですよ

身長の話題をするなど言つただろう

8月6日（水曜）分

■短歌

立ち止まるいじのなかつた僕だけ今立ち止まる炎天の道

入道雲縫いてそのまま浴槽へ

■川柳

秘密などない人だから好きなのに
秘密がない人なんていやいません

もののけのお供みたいな君が好き

この先もやつてくつもりはあるんですけど

ここへ来てぐんと柔くなつてきました

巨峰食 その根性を認めよう

サウダー求めておく この今まで

グッときの言い方と目の虚ろ

じゅんじゅんとれんれんつて誰友達の？

やればやるほどじまくなつてくるな？

8月7日（木曜）分

■短歌

この先の交差点曲がったところなら迷路があつても全然いいのに

■俳句

蟻の子を助けた午後の物語

■川柳

エレベーターだけが持つているという矛盾

いつまでもこない電車に乗つている

その後の事を問うなつもう余わん！

むくむくと湧き上がる君の肉

河原町にはジュリーがいる

黒いのが特機たろうトンネルの

茶髪女子まで行つても茶髪女子

お母さんみたいな娘さんみたいなおばあさん

ラムネ 飲みながら走るし危ない

特急に乗つて行くからさうむつなら

身長の話題をするなど言つただろう

8月8日（金曜）分

■短歌

意地という言葉を紙に書いて食べ歎息に受けた伝説を聞く

■俳句

あの午後に西瓜ジュースを飲んだ理由

■川柳

終点で降りるとほゞじつじつした
言つだけは言つてみる権利は誰にでも

人は死ぬこともある死なぬこと
手が震え始めたならば本物た

横にいるやつはあの時のみー
裸じやないかその格好はまるで

そんなこと言つなと泣けてくるぜ

太すぎまるウエスト太すぎる」の腕

キレキレのダンスの向こうに息の音

透明な服を着て君現れた

8月9日（土曜）分

■短歌

国政環境経済ホトトギス君が受け入れないものは何？

■俳句

万葉の中に一点君の色

■川柳

やるなお前超スピード狂だね狂つてる

長い髪のらららに合わせてギター弾く

夏の日の氷柱は相対死の双眸

いいほどにやりたいことが極まつた

タバコ吸う意がするなら認めてる

北上川の上流から何か流れてくれる

タロットで見れば全てをお見通し

膝の上に重い女が座つてる

靈巣師と一緒に裏の居酒屋へ

潮吹いているなつそれで構わない

8月10日（日曜）分

■短歌

国鉄で来たのとどいに言いかけてちょっと知らんがりされていや

■俳句

蝉止んで季節色褪せたりし唇

■川柳

8月16日（土曜）分

■短歌

ライオンとライオンのこの関係を3年後また話すとは

■俳句

松虫をひっくり返して祝宴

■川柳

ちょっとだけ感動聞かせてくれるかな

それとなく後ろに回って背中搔く

行く未を楽しみにしたり恐れたり

墓参りに行こうと楽しみに

踏切でいつまでも待つて夜明け

普世人にはわからぬことをやりたいね

舌打ちをする人だけでうるさい

どんな金の使い方してるんだ君

行きたくてもっと近くに行きたくて

入りたくてもっと奥まで入りたくて

8月17日（日曜）分

■短歌

路上にてタバコ吸うやつのその指を一本一本ライターで焼く

■俳句

こんなところに陸運局料理の看板

■川柳

徹底して突き詰めれば何か出でへんよ

お化けでも目でも多摩でもじこにでも

特急がまた来たね乗ろうか乗ろう

全然わからんねえというやつがいる無責任

そりやあそうそあの借金はどうしたの？

スクーリングで学校の進行形？

足が棒になつたら怖いね

美しい素肌の人が歩いてる

笑顔だけ美しい人がいる

豆飯を炊くのは面倒くさい

8月18日（月曜）分

■短歌

サーフィンとサーファーとその車とのそれとの距離を瞬間に貢抜く

■俳句

汝が庭のあんなカンナに魅せられて

■川柳

やる気出したら半分ぐらはやれるものだ

その残りの半分が大変なのだ

事務制服を纏製みたいにしてる人

江坂たどりもつ江坂だと？おかしいぞ？

走るだけ走つておけば朝得だ

する賣い奴らが町に溢れてる

スイカ割りスイカを切る方が好き

悠々とした様子で実は焦つてる

我が怒り君に屬さず

十分だこままでくれば十分だ

8月19日（火曜）分

■短歌

こんなにも晴れた日になら我が企図も誰にも知らずれず公表する

■俳句

水菓子胸一杯に抱えゆく

■川柳

全力を振り絞つても足りない日

まつだの日傘を毎日使つてて

雨降らず人知らず恋知らず

どうでもいいといふ人のこと信じてる

シャクナゲというあだ名ならどうですか

その店にヤクザのやつらが群れている

その周り醜い心の女あり

空高く舞いましたとか言つてるよ

同時間 同時刻に俺 トイレ行く

8月20日（水曜）分

■短歌

掃き溜めの用にも見て オークション屋様に集う黒い人たち

■俳句

蜻蛉釣り君の素肌に触れた午後

■川柳

アセベタの気持ちで ざんざん前へ出る

弱点を狙つて常に技を出す

サンマリノ 聞きなれない手だ 注意しろ

アヴェマリア すき焼きた歌破りされ

ジュウシマツ 何回買つても10します

プロレスラーに恋をした人はやっぱ

タイムズがやたらに増えてる街通り

轆轤かなああ恋しかな恋路かな

自転車の道での曲のり止めてよ

ゴミ箱でないです 恋文 入れないので

8月21日（木曜）分

■短歌

ぐぐぐんと背が伸びてゆくその人の子供の背丈 潬りたしと思う

■俳句

星月夜君ばかり見ていたつけな

■川柳

3という言葉に心底惚れました

名前から笑うよまるいクリニック

タクシーで行つたら倍かかります

歌ばかり歌つてる人歌手ですね！

嘘ばかり言つてる人た詐欺ですね！

超お得だというのなら買つてくれ

僕のこと買つてもらつたことありません

おまけするにものこれ以上体ありません

いい年してリュックサックはやめないか

高さ制限するより質制限してくれ

8月22日（金曜）分

充実のパインジュースの中にある繊維の感

触確かめており

■俳句
赤木を賣似て浜辺の品定め

■川柳
この速さで突つ切つたなら遅刻せじ

交差点はやばいな助かるぞ

まさか川柳を吹き込んでいるとは。
これ以上走ると息が止まります。

息止めてそこから始める潜水だ

16 茶なんてダメけたもん飲むな
赤信号だけれど横は青信号

雨降つてないのに傘さす人がいる
怪力レスラーつて一体何だったんでしょう

過激なロックつて一体何だったんだでしょうね

8月23日（土曜）分

■短歌

暑い人日と暑くない日の合いの子に我併み

て日々を過ごせり

■俳句

朝顔の咲き忘れたり軒の下

山岡ゆうほう面白いやつはいない
彼をそのかして本を作つた

これが俺の功績の1つにならんやう
随分と行きたいように生きてきた

アスファルトの上を歩くと暑い
暑いけれども歩けないわけではない
歩けないわけではないがフラフラになる

フラフラになるが それなりに楽しい
楽しければいいじゃないか生きている意味だ

8月24日（日曜）分

■短歌
遠のいた栄光の日の代替にエベレスト巔頂などを試み

■俳句
萩の穂や取り替えし子のありやなしや

■川柳
会議の時間が迫つてゐるのにこんなに香氣だ

納期にそ生きるとの魂の本質の言葉だ
はみ出してくる言葉の数の余分なところに意味があるので

もう部屋の中には戻れないかもなんて外に行く時は思つもんだ
同じように愛情 沖縄に行つたことのない沖縄に

さあここからが勝負だという気がするぞ俺
どんなものでもタイナマイトで飛ばすような気分になるんだ

さあ笑つちやうとね
さあ笑つちやうとね

8月25日（月曜）分

■短歌

さわやかな思い出ばかり描き切る能天気画家の脳の中身よ

■俳句
どうぶつ飯詰め替え用の礼儀知り

そつがあまりにも暑すぎるからはみ出しちまつたんだ
その時はクーラーでぐつと冷やすと癒すするかもしれない

そんなわけではなく一旦やめたものは「元に戻らないのだ
ぼやけたものが悪いといつわけではないいわけでもない別物だ

自由た何をしても自由だからそれが 川柳だと云つて云つた
俺ほどに強い精神を持つてないところ川柳はかけるもんじやないな

気弱にウインカーんか出しやがつて そんないふをしてるから気弱なんだ

できただけ 到着するまでにやりきつてしまいたいけれどそんな目標
を立てても何にもならないといふことは到底 自分でもお腹痛じいや

ないかそれなのに何でそんな目標を立てるんだ
できましたらこの辺で とか言ってみたいけどできませんからそいつ

ういふは言えないんだね
「とスマホに打ち込むと急いで打ち込む時に限つて と出る
充実した人生だったなんて言つてみたけど「言わないだらう
どこから川柳からはみ出してしまつたが これがどうも心地いい
川柳と短詩の違いを誰か教えてくれとは言わんじよ
何年か前アフォリズムをかけて俺に教えてくれたやつがいた

い

大きなステッキ引っ張るヨーロッパ系の美女がいる

それがどうした俺はアジア人だ

ネバールのことを思つネバールのことを思つネバールのことを思つ
道で挨拶をしているじいさんとはあさぐない

くしゃみなのか犬の鳴き声なのかわからな
い

重苦しい隨筆ばかり書く人が狡猾であるが驚きもせず

朝晩に録音をして寝て暮らす

いていてていててててててて痛ててて
のよくなつても責任負いません

■俳句
南冥その他のものを持ち帰り

■川柳
数字の9と英語の9どちらが可愛いんだうねよく見るし形が似てるからきっと本質はゼロに尻尾がついたというから 標源は同じなんだと僕は推測した

これは真夏は道歩くもんじやないなこんな長い距離と時間を

川柳を喰らうとしているのにドロドロ溶けて長く長く長くなつてしま

うこれがだ

雨上がり気持ち交われば型交わる

水溜りはね駒のと通り過ぎ

自転車で帰る乙女の躊躇い

実力で差のあるやつの足を引く

バイブルゲームやりすぎ死にかける

オーラクション高すぎるとつけてやる

冗談からひょうたんが出る

夕顔もあつしほんでの帰り道

8月29日（金曜）分

■短歌

今週の宿題明日に延ばしつつ来週のそれ先にやつちやう

ひぐらしを追い掛け夜の公園まで

しゃべるよだけが生きがいのよくなもの
マンホールくなつてないかチェックする

両側を抑えてあらうて曲に浮く
玉手箱4つ固めてドア捨てる

旅行動画で完全チェックする
電信柱の太さが微妙に違つてる

かけた金の違い伏見の鳥居に同じ
こんなにも服ができるなうつも歩くよ

散々な目に遭いました騙された
騙されたという言い訳が有効だ

唐辛子指を一本掴みけり

■川柳
通常通り作戦は終一する
御所西屋御所南などへのかつぱ

ぼーっとした表情の子は後回し
ルツキズムに鉄槌くらわす私は

ルックスが良すぎてみんなを泣かせてる
自動車に乗りまつか單車にしますか

博士専12の3で撃回す
三四郎と会つたことない僕ですが

脅威など一切感じておりません
すれ違いネパール人と笑い合う

8月31日（日曜）分

■短歌
また会えぬ理想の人の体型に嫌の人と言つもつ一度

唐辛子指を一本掴みけり

■川柳
通常通り作戦は終一する
御所西屋御所南などへのかつぱ

ぼーっとした表情の子は後回し
ルツキズムに鉄槌くらわす私は

ルックスが良すぎてみんなを泣かせてる
自動車に乗りまつか單車にしますか

博士専12の3で撃回す
三四郎と会つたことない僕ですが

脅威など一切感じておりません
すれ違いネパール人と笑い合う

8月28日（木曜）分

■短歌

クーラーの効いた車両に終日を暮らしてみたし始発＝終点

■俳句
唐辛子に知り合いはないはずなのに

■川柳
じょくじょくと飲める分量かい濃い

目の前に木槿花の鎮まりて

■川柳
よかつたねと言われて本当にそう思つ
化粧のよくな服姿で人斬す

ローレルローレルという歌聲が聞こえる何
また雨が降ってきたのに知らんぱり

殺伐とした回だから楽しいね
諦めない奴らの顔を痛く見る

空中を歩いているよくな気分

責任感ない僕だから僕だから
殺伐とした回だから楽しいね
諦めない奴らの顔を痛く見る

人気なき路地にて 一一さしすせそ

セクハラの言い訳するやつとつきまくる

何言うの人を筆意させといて

私ならてんで意味なじ分かりません

龍宮城ボップって何ですか
サングラスかけたつもりが あんまさん
帰る余裕もないままに走る